



6



5



4

チョウザメにぎり膳5千食を達成 ゆ〜ぱるのじりでも提供開始

市 特産のチョウザメを使ったご当地グルメ「小林チョウザメにぎり膳」が8月26日、販売開始201日目で5千食を達成し、注文のあったレストラン待夢で記念イベントが行われました。5千食目を注文したのは、食べるのが2回目という吉田敏男さん(=南西方)。小林チョウザメ料理推進協議会の熊ノ迫文夫会長(=

小林商工会議所会頭)から、宮崎牛とナシ・ブドウセットが贈られました。吉田さんは「以前食べてみたら想像よりおいしかったので、また食べたいと思っていた」と話していました。また9月5日には、道の駅ゆ〜ぱるのじり内レストラン「味彩」で、チョウザメにぎり膳の提供が始まり、提供店舗は市内で5店舗となりました。

Photo 4 にぎり膳の5千食達成イベントで、注文した吉田さんに特産品を贈呈。5現在チョウザメ料理と観光地・観光農園を巡るスタンプラリーを開催中。10月26日まで。6道の駅ゆ〜ぱるのじりレストランのチョウザメにぎり膳



3



2



1

須木の第7分団第5部が快挙 県消防操法大会で優勝

8月23日、第34回宮崎県消防操法大会が県消防学校で行われました。本市からは市大会、西諸地区を勝ち抜いた、第7分団第5部が小型ポンプ積載車の部に、第3分団第10部が小型ポンプの部に、第3分団第10部が小型ポンプの部に出場。当日は、炎天下の中競技が行われましたが、団員らは約半年間にわたり朝夕練習に

励んできた成果を存分に発揮しました。結果は、第7分団第5部が小型ポンプ積載車の部で優勝。第3分団第10部は、小型ポンプの部で7位の成績を納めました。芝原靖彦団長は、「両部、まとまりのある部だからこそその結果。今後、火災や捜索などの現場に生かされると思う」と話しました。

Photo 1 火点に目がけ放水する第3分団第10部(西小林)。2ホースを担ぎ懸命に走る指揮者の春口部長。3優勝した第7分団第5部(須木奈佐木)。

Interview 優勝メンバーに話を聴きました



指揮者(部長) 春口 幸太さん

4人で優勝できたことが誇り

2年前、優勝できず悔しい思いをしたので、今回の優勝はとにかくうれしいです。4月から約半年間、ほぼ毎日練習した成果もあり、今までで一番いい操法をすることができました。この4人で優勝できたことを誇りに思っています。

力を出し切りととても楽しめた

整列のときなど常に基準となる2番員。私が正確に動かないと他のメンバーに迷惑をかけてしまうので、練習から常に意識して取り組みました。大会では、今までやってきたことを出し切れたこともあり、操法をととても楽しめました。



2番員 永迫 裕幸さん



1番員 永迫 一樹さん

多くの人の支えに感謝

1番員で、タイムが決まると思い必死に頑張りました。しかし、操法は速さだけでなく、動きの正確さも大切なので、雑にならないように心がけました。家族、団員、OBや地域の方など多くの支えがあったので優勝。皆さんに感謝です。

団員全員の熱い思いで優勝

ミスをしたくないことが3番員の役目です。とにかく練習して、ひとつずつ確実にできるようにしてきました。今回優勝することができたのは、メンバーはもちろん団員全員が熱い思いを持っていたからこそだと思っています。



3番員 岩下 将大さん



9



8



7

安全点検を徹底。「のじり湖まつり」 恒例の女尻相撲などに歓声

Photo 7 「風船のジローちゃん」のショー。キャラクターのバルーンアートをもらおうと、集まる子どもたち。8のじりこびあに2年ぶりに花火が上がった。9名物「女尻相撲大会」で盛り上がりは最高潮に

第30回のじり湖祭(同実行委員会主催・平水錠二実行委員長)が8月23日、のじりこびあで開催されました。恒例の女尻相撲大会、花火やステージショーがあり、多くの家族連れでにぎわいました。去年は、ステージ上で事故が発生し、祭りは中断。今回は事故を教訓に、安全管理を徹底。市職員、消防団や実行委員

OBからなる安全点検チームをつくり、危険個所の点検を繰り返してきました。努力のかいあって、大盛況に終わり、平水実行委員長は、「歴史ある祭りを途切らせることなく開催でき、ほっとしています。昨年負傷した方からの温かい応援や、多くの関係者のご理解とご協力に、心から感謝したい」と話していました。